



# がっこうとしょかん 学校図書館だより

いちかわしりつにいはましょうがっこうとしょかん  
市川市立新浜小学校図書館  
れいわ ねん がつ にちはっこう  
令和6年6月17日発行

ぜひ、おうちのかたといっしょ  
によんでください！

## つ ゆ どくしょしゅうかん 梅雨の読書週間

がつ にち がつ にち きん  
6月17日(月)～6月28日(金)

そと あそ あめ ひ ほん よ  
外で遊べない雨の日は、本を読んで  
すごしましょう。図書委員会では、みなさ  
さんがたくさん本を読んでくれるように、  
いろいろなイベントをします。

- ペア学年におすすめの本を教室に届けます 高学年が低学年のペアにおすすめの本  
を図書室で選んでくれました。リストを添えて教室に届けますので教室内で読んでく  
ださい。低学年は本を選んでくれた高学年にむけて「ありがとうカード」を書きましょ  
う。読んだ本の題名を書いて、色をぬってください。梅雨の読書週間が終わったら、カ  
ードを高学年に届けます。
- 先生方のおすすめの本を紹介 先生方に小学生におすすめの本を選んでいただき、  
メッセージを書いていただきます。図書室の前に掲示します。
- しおりコンテスト 図書室にあるお気に入りの本のイメージをしおりに表現してくださ  
い。しおりを描くための用紙は図書室にあります。エントリーされた中から気に入った  
作品に投票してもらって、たくさん票が集まった作品は実際にしおりにします。
- 図書室の本の人気投票 図書室にある本で好きな本に投票してもらい、学年ごとにラ  
ンキングを発表します。投票用紙は図書室の時間に配ります。
- 高学年におすすめの本、図書委員会と読書クラブのメンバーのおすすめの本 それぞ  
れ、コーナーを作って掲示していきます。

ぜひ、みなさんも楽しんで参加してください。

～豆知識～ “梅雨” 6月10日ごろからはじまる高温多湿の雨期で、約1か月、雨の多  
い日が続きます。「つゆ」または「ばいう」ともいいます。梅の実が熟すころに降ることか  
ら、梅の字があてられたといわれています。(「日本のくらし絵事典 382 二」より)

2024年度 <sup>ねんど</sup>千葉県読書感想文コンクール <sup>かだいとしよ</sup>課題図書

<sup>ていがくねん</sup>  
低学年の部

「いえ あるひせんそうがはじまった」 カテリナ・ティホゾーラ/さく

「かえてちゃんとひみつのノート」 <sup>おおくぼうさぎ</sup>大久保雨咲/作

「名なしのこねこ」 <sup>ちよ</sup>とりごえ まり/著

「ねこぜ <sup>やまどうぶつえん</sup>山動物園」 <sup>かどのえいこ</sup>角野栄子/作

「フルーツふれんずモモちゃん」 <sup>むらかみ</sup>村上しいこ/作

「ランカ にほんにやってきたおんなのこ」 <sup>のろ</sup>野呂きくえ/さく

<sup>ちゅうがくねん</sup>  
中学年の部

「あるへラジカの物語」 <sup>ものがたり</sup>星野道夫/原案

「AIロボット、ひと月貸します!」 <sup>つきか</sup>木内南緒/作

「角が曲がった <sup>つ</sup>みつき <sup>ま</sup>二号」 <sup>にごう</sup>麦野圭/作

「ドロップイン!」 <sup>さく</sup>あさだ りん/作

「ハッピー・クローバー!」 <sup>たかだゆきこ</sup>高田由紀子/作

「ももちゃんのピアノ <sup>おきなわせん</sup>沖縄戦・ひめゆり <sup>がくと</sup>学徒の物語」 <sup>ものがたり</sup>柴田昌平/文

<sup>こうがくねん</sup>  
高学年の部

「エール!主人公なぼくら」 <sup>しゅじんこう</sup>室賀理江/作

「科学でナゾとき!2 やまんばの <sup>か がく</sup>屋敷事件」 <sup>やしきじけん</sup>あさだ りん/作

「カタリン・カリコ mRNAワクチンを生んだ <sup>う</sup>科学者」 <sup>かがくしゃ</sup>増田ユリヤ/著

「ここではない、どこか <sup>とお</sup>遠くへ」 <sup>ほんだありあけ</sup>本田有明/作

「ラベンダーとソプラノ」 <sup>ぬかがみお</sup>額賀滂/作

「わたしに <sup>つづ</sup>続く道」 <sup>みち</sup>山本悦子/作

<sup>かだいとしよ</sup>課題図書は、<sup>ぎょうとくとしよかん</sup>行徳図書館など、<sup>いちかわしりつとしよかん</sup>市川市立図書館で借りることができます。ぜ

<sup>よ</sup>ひ、<sup>よ</sup>読んでみてください。<sup>よ</sup>読んで感動した本があったら、<sup>かんどう</sup>夏休みに<sup>ほん</sup>読書感想文

<sup>か</sup>を書いてみましょう。<sup>かんそうぶん</sup>感想文を書くことで、<sup>か</sup>よりその本の<sup>ほん</sup>内容が<sup>ないよう</sup>理解できて、さら

<sup>かんどう</sup>に<sup>ちょうせん</sup>感動することでしょう。挑戦してみませんか!?